

## 金 成泰 氏 学位審査結果の要旨

主査：螺良 愛郎

副査：中邨 智之、岡崎 和一

膵癌は、発見時には切除不能であることが多く、膵癌患者の5年生存率は5%に満たない。ジェムシタビン（GEM）による化学療法が導入されているが、選択的アンギオテンシンⅡ阻害剤であるロサルタン（Los）併用による抗腫瘍作用を検討した。その結果、併用群ではラット膵癌モデルの生存期間が延長し、培養 DSL-6A/CI 膵癌細胞株の生細胞率が減少した。なお、この機序は膵癌組織での VEGF の合成阻害により細胞増殖を抑制することが判明した。以上、2剤の併用により、進行膵癌患者の治療成績を改善する可能性が示唆され十分学位に値すると判断した。